



# コマンドライン インターフェイスの 使用方法

---

この章では、Cisco IOS command-line interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) を使用してアクセス ポイントまたはブリッジにソフトウェアの機能を設定する方法について説明します。

アクセス ポイントおよびブリッジでサポートされる新規および改訂 Cisco IOS コマンドの詳細は、[付録 A 「サポートされる Cisco IOS コマンドのリスト」](#) を参照してください。

Cisco IOS コマンドの詳細は、『*Cisco IOS Release 12.3 Command Summary*』を参照してください。

作業ベースの設定手順の詳細は、『*Cisco Aironet アクセス ポイント Cisco IOS ソフトウェア コンフィギュレーションガイド*』または『*Cisco Aironet 1400 Series Wireless Bridge Software Configuration Guide*』を参照してください。

## メモリの種類

アクセスポイントとブリッジのフラッシュメモリには、Cisco IOS ソフトウェアのイメージ、スタートアップコンフィギュレーションファイル、ヘルプファイルが保存されます。

## CLI コマンドモード

この項では、CLI コマンドモード構造について説明します。コマンドモードは、Cisco IOS の個々のコマンドをサポートします。たとえば、**interface interface-id** コマンドは、グローバルコンフィギュレーションモードになったときにだけ機能します。

アクセスポイントとブリッジの主なコマンドモードは次のとおりです。

- ユーザ EXEC
- 特権 EXEC
- グローバル設定
- インターフェイス設定

表 1-1 で、主なコマンドモードと、それぞれのモードへのアクセス方法、そのモードで表示されるプロンプト、およびモードの終了方法を説明しています。リスト内のプロンプトは、デフォルト名 *ap* を使用しています。

表 1-1 コマンドモードの要約

コマンドモード	アクセス方法	プロンプト	Exit
ユーザ EXEC	最初のアクセスレベルです。 ターミナルの設定の変更、基本的なタスクの実行、システム情報の表示を行います。	AP>	<b>logout</b> コマンドを入力します。
特権 EXEC	ユーザ EXEC モードから、 <b>enable</b> コマンドを入力します。	AP#	ユーザ EXEC モードを終了する場合は、 <b>disable</b> コマンドを入力します。
グローバル設定	特権 EXEC モードから、 <b>configure</b> コマンドを入力します。	AP(config)#	特権 EXEC モードを終了する場合は、 <b>exit</b> または <b>end</b> コマンドを入力するか、 <b>Ctrl+Z</b> キーを押します。
インターフェイス設定	グローバルコンフィギュレーションモードから <b>terminal</b> を指定し、 <b>interface</b> コマンドにインターフェイスの種類と番号を続けて入力してインターフェイスを指定します。	AP(config-if)#	特権 EXEC モードを終了する場合は、 <b>end</b> コマンドを入力するか、 <b>Ctrl+Z</b> キーを押します。 グローバルコンフィギュレーションモードを終了する場合は、 <b>exit</b> コマンドを入力します。

## ユーザ EXEC モード

デバイスにアクセスした後、自動的にユーザ EXEC コマンドモードが開始します。ユーザ レベルで使用できる EXEC コマンドは、特権レベルで使用できる EXEC コマンドのサブセットです。一般に、ターミナル設定を一時的に変更する場合や、基本的なテストの実行、およびシステム情報の表示には、EXEC コマンドを使用します。

サポートされるコマンドは、使用している Cisco IOS ソフトウェアのバージョンにより異なります。すべてのコマンドのリストを表示する場合は、プロンプトで疑問符 (?) を入力します。

```
AP> ?
```

## 特権 EXEC モード

特権コマンドの多くは動作パラメータを設定するので、特権アクセスをパスワードで保護して不正な使用を防ぐ必要があります。特権コマンドセットには、ユーザ EXEC モードに含まれるコマンド、および他のコマンドモードにアクセスする前に入力する **configure** 特権 EXEC コマンドが含まれます。

システム管理者がパスワードを設定している場合、特権 EXEC モードにアクセスするためにパスワードの入力を要求するプロンプトが表示されます。パスワードは画面に表示されず、大文字と小文字を区別します。

特権 EXEC モードのプロンプトは、最後にポンド記号 (#) を付けたデバイス名です。

```
AP#
```

特権 EXEC モードにアクセスする場合は、**enable** コマンドを入力します。

```
AP> enable
AP#
```

サポートされるコマンドは、使用している Cisco IOS ソフトウェアのバージョンにより異なります。すべてのコマンドのリストを表示する場合は、プロンプトで疑問符 (?) を入力します。

```
AP# ?
```

ユーザ EXEC モードに戻る場合は、**disable** 特権 EXEC コマンドを入力します。

## グローバル コンフィギュレーション モード

グローバル設定コマンドは、デバイス全体に影響する機能に適用されます。グローバル コンフィギュレーション モードを開始する場合は、**configure** 特権 EXEC コマンドを使用します。デフォルトでは管理コンソールからコマンドを入力します。

**configure** コマンドを入力すると、設定コマンドのソースの入力を要求するメッセージが表示されます。

```
AP# configure
Configuring from terminal, memory, or network [terminal]?
```

設定コマンドのソースとして、ターミナルまたはメモリを指定します。

次の例は、グローバル コンフィギュレーション モードにアクセスする手順を示しています。

```
AP# configure terminal  
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.  
AP(config)#
```

サポートされるコマンドは、使用している Cisco IOS ソフトウェアのバージョンにより異なります。すべてのコマンドのリストを表示する場合は、プロンプトで疑問符 (?) を入力します。

```
AP(config)# ?
```

グローバル設定コマンドモードを終了し、特権 EXEC モードに戻る場合は、**end** または **exit** コマンドを入力するか、**Ctrl+Z** キーを押します。

## インターフェイス設定モード

インターフェイス設定コマンドは、インターフェイスの動作を変更します。インターフェイス設定コマンドの前で、インターフェイスの種類を定義するグローバル設定コマンドを必ず指定します。

インターフェイス設定モードにアクセスする場合は、**interface interface-id** コマンドを使用します。新しく表示されるプロンプトは、インターフェイス設定モードを表します。

```
AP(config-if)#
```

サポートされるコマンドは、使用している Cisco IOS ソフトウェアのバージョンにより異なります。すべてのコマンドのリストを表示する場合は、プロンプトで疑問符 (?) を入力します。

```
AP(config-if)# ?
```

インターフェイス設定モードを終了し、グローバル コンフィギュレーション モードに戻る場合は、**exit** コマンドを入力します。インターフェイス設定モードを終了し、特権 EXEC モードに戻る場合は、**end** コマンドを入力するか、**Ctrl+Z** キーを押します。